

2019 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31201	社会のしくみ Structure of Society	荒井 信貴	基礎	2	選択	1・2年 前期
科目の概要						
選挙年齢が18歳となり、学生も否応なしに社会との関わりが密となる環境にある中、現代社会の一員としてその基本知識をもつことが重要である。そのため、現代にいたる社会の歴史を概観し、その特徴を理解していく。さらに日本の現代社会が内包する諸問題、さらにはグローバル化のすすむ現代社会の諸様相を取り上げ、理解を深める中で、これからの社会と主体的に関わっていく方法・考え方を身に付けていく。						
学修内容			到達目標			
① 社会の定義とその成立について理解する。 ② 歴史における社会のしくみの変遷について理解する。 ③ 日本の現代社会の諸問題を例として、現代社会の様相を学ぶとともに、今後の課題について考察する。			① 個人・家族から自らも一員である社会へと視野を広げることができる。 ② 時代の要請のもとに変容する社会のしくみをその要因を踏まえ説明することができる。 ③ 同時代を生きる人として、現代社会の課題に目を向け、自己の行動を判断することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	講義内容で取り上げた課題について、自らの生活体験を考慮して理解ができ、また、新聞などにより情報収集を積極的に行って知識を増やすことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	講義時間内は、集中力が切れないよう努め、緊張感をもって授業に臨むことができる。				
考え抜く力	課題発見力	「知らない」から、積極的な「気づき」の方向へと自身の関心を向けることができ、さらにそこに内在する諸問題を自身の考えるべき課題として捉えることができる。				
	計画力					
	創造力	講義内容を基本に自己の生活に関連づけて考えることができる。				
チームで働く力	発信力	受講中、自らの疑念を質問し、また自身の考えをまとめ発言できる。				
	傾聴力	他事に捉われず、講義に集中して理解に努める。私語を慎み隣席者の聴講を阻害しない。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	遅刻や私語、携帯電話操作などを行わず、支障なく授業進行するための基本ルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:授業の内容にそったレジュメ・資料をプリントして配布。 参考文献:授業にそって適時紹介する。						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:「経済のしくみ」「ジェンダーと社会」「企業と社会」「社会福祉論」 資格との関連:「情報処理士」「ビジネス実務士」						
学修上の助言			受講生とのルール			
レジュメは要点記述のみのため、講義時における補足を記入しておくことが望ましい。また専門用語も頻出するため、理解できない時は辞書、パソコン検索などで確認しておく。			現代社会では、新聞・TV・Web などにより多くの社会事象が情報伝達されている。これらの情報を自身を取り巻く社会の課題として考え、自分なりの意見を持つよう努力してほしい。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験		①	✓	・基本内容をはば広く理解し、講義の要点を把握しているかを評価する。 ・基本理解の上に立って課題を発見し、適切に自身の主体的な考えを表明しているかを評価する。(課題発見力と主体性を評価) ポイント：①講義での要点を踏まえ、自らの考察が表出できているか。 ②論理的一貫性をもって記述されているか。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
小テスト		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
レポート		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
作品		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
社会人基礎力 (学修態度)		①	✓	(主体性) 受講中の問いかけに、自己の社会経験を率直に発言できる。 (実行力) 受講中、私語などなく緊張感を維持して受講できる。 (課題発見力) 問題点を発見し、質疑での発言に結びつけることができる。 (創造力) 社会との関係を見直し、将来に向けての意見を述べるができる。 (発信力) 明確な言葉で他の受講生に理解が及ぶよう発言できる。 (規律性) 受講中、学修意欲欠如(いねむり)等がない。 (傾聴力) 「あいづち」「うなづき」など授業進行に積極的に関与できる。 以上の場合には評価する。 ・受講態度(欠席)については、2点を減点する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
その他		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
授業態度に積極性が認められる。 筆記試験で、授業要点を8割以上理解し、説明できる。 自己の見解を論理的に記述することができる場合はA(優)とする。自己の見解に提言を含み、論理的に記述できる場合はS(秀)とする。	授業態度に規律性が認められる。 レポートが提出されている。 筆記試験で、授業要点を6割以上理解し、説明できる。 自己の見解を付加することができる場合をB(良)とし、感想にとどまる場合はC(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	社会とは何か 「社会」の概念の基本を身近な例から認識する。	講義	「社会」という言葉を正しく理解し、説明することができる。	レジュメに講義内容を加え再読し復習。 世界史概説書により予習。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	社会の歴史(1) 人類社会の成立をその初現から理解する。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	人類と他の霊長類との相違について述べるができる。	レジュメに講義内容を加え再読し復習。 世界史概説書により予習。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	社会の歴史(2) 農耕文化の成立と階層性の成立過程を学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	富の蓄積が社会のしくみを変化させることを説明することができる。	レジュメに講義内容を加え再読し復習。 世界史概説書により予習。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	社会の歴史(3) 古代国家の誕生と民主主義社成立の様相を学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	階級社会のしくみと支配の実態の概要を述べるができる。	レジュメに講義内容を加え再読し復習。 世界史概説書により予習。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	社会の歴史(4) 中世封建社会の実状を庶民視点から考察する。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	封建社会における諸制度と庶民活動の事例を説明することができる。	レジュメに講義内容を加え再読し復習。 世界史概説書により予習。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	社会の歴史(5) 様々な「革命」を経て成立する西洋近代社会を学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	市民が社会の主役となる「革命」の時代契機を述べるができる。	レジュメに講義内容を加え再読し復習。 世界史概説書により予習。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	社会の歴史(6) 西洋近代を移植した明治日本社会の特異性を認識する。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通して中でフィードバック	文明開化により大きく転換した社会を事例により説明することができる。	レジュメに講義内容を加え再読し復習。 世界史概説書により予習。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	社会の歴史(7) 大戦を経て現代へと続く社会の変化を理解する。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	大きな犠牲をともなった社会変化を述べるができる。	レジュメに講義内容を加え再読し復習。 新聞記事などによる社会の動向を予習。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	日本の現代社会(1) 戦後民主主義と市民意識など現代社会の変化を学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	戦後民主主義の展開を現代社会の基点として説明することができる。	レジュメに講義内容を加え再読し復習。新聞記事などによる社会の動向を予習。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	日本の現代社会(2) 経済を中心に現代社会の諸問題を考察する。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	様々な経済問題の存在を列記することができる。	レジュメに講義内容を加え再読し復習。新聞記事などによる社会の動向を予習。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	日本の現代社会(3) 高齢化をキーワードに現代社会の諸問題を考察する。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	高齢化社会について、将来を支える者としての意見を述べるができる。	レジュメに講義内容を加え再読し復習。新聞記事などによる社会の動向を予習。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	現代社会の諸様相(1) 国際社会の中での日本と諸外国を比較し考察する。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	様々な国際問題の存在を列記することができる。	レジュメに講義内容を加え再読し復習。新聞記事などによる社会の動向を予習。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	現代社会の諸様相(2) グローバル化の中での日本の方向性を考察する。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	様々な国際問題の存在を列記することができる。	レジュメに講義内容を加え再読し復習。新聞記事などによる社会の動向を予習。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	現代社会の諸様相(3) 身近な社会問題を質疑応答により認識する。	質疑 予習・復習成果を質疑応答の回答を通して中でフィードバック	課題について発言し、討議に参加することができる。	レジュメに講義内容を加え再読し復習。新聞記事などによる社会の動向を予習。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	社会のしくみ(総括) 講義の総括を通して、社会への関心の必要性を認識する。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通して中でフィードバック	全体の講義内容を理解し、社会成員としての自覚を述べるができる。	講義録全体を再読し、質疑内容を踏まえ、自己の考えをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力